

島根県公立小中学校  
事務職員研究会

会長：立脇 渉  
(大田市立烏井小学校)

編集：広報部

VOL.38 2010.3.3(雑祭号)

発行責任者 川本中学校 福井義信

島事研ホームページ

<http://www.oh-net.com/~kenjiken/>



【目次】

- ┆島事研40周年に向けて(副会長)
- ┆特集「共同実施」(雲南市の取組)
- ┆中央研修参加者の感想
- ┆学校事務セミナー参加者の感想
- ┆人権コーナー
- ┆新教育課程コーナー
- ┆事務歳時記
- ┆環境コーナー
- ┆まんが「フーちゃん」
- ┆編集後記



# 島事研40周年・新たな歩みに向けて

## — 今年度の活動報告 —

副会長 林 由 里

### 1. 第40回研究大会

島事研の中心事業である研究大会は今年度40回大会を迎えました。平成17年度より取り組んできた第3次研究中期計画を振り返り、研究部が中心となって行ってきた研究、会員の皆さんが各地で取り組んできた研究の総括を行いました。

総括を受け、これからの島根の学校事務と事務職員の役割を考えるため、木岡教授による講演、そして県教育委員会・校長・事務職員を交えたシンポジウムを行いました。

### 2. 島事研ビジョン(概要)と第4次研究中期計画の提案

研究大会ではこれからの学校事務と事務職員の役割・目指す姿を、またそれに向けての島事研の取組の概要を島事研ビジョンとして提案し、次の5年の研究を第4次研究中期計画として提案しました。そして広く会員の皆さんの意見を求め、理事会等で話し合いを行いました。これらの意見を受けて修正を加え来年度からこれにもとづいた活動計画を立てていくこととなります。

### 3. 事務職員の研修についての提案

島事研ビジョンで示した目指す事務職員像に向け、その研修のあり方について島事研としての試案づくりを行っています。その中で任命権者の行う研修について県教育委員会(教育センター)に提案を行いました。これらを示し会員の皆さんのご意見を求めたいと思います。

### 4. 第6回セミナー

島事研ビジョン・第4次研究中期計画で提案した事務職員の目指す方向性、あるいは職務の中心として据えた学校財務についてその考え方を提起しました。今、多方面から学校財務に対する注目が集まっています。学校経営を考えたとき学校財務は切り離すことのできない重要な機能です。学校財務を事務職員が中心となって担うにはどういう働き方をすれば良いのか考える指標となったのではないのでしょうか。

以上のように今年度は、島事研40周年新たな歩みに向け、様々な準備を整えた年となりました。今、学校のあり方や役割が大きく変化しようとしています。それに伴い学校事務の新たな創造も必要です。島事研は県内の事務職員(会員)の力を合わせ、新たな学校事務の創造を行っていかれたらと考えています。

### 島事研のロゴマーク完成!

青森県弘前市在住の工藤和久さんの作です。島根県の「S」の文字を基調に、「新しい時代にふさわしい教育活動の充実」を支援する島事研が、輝く教育の光の中で躍動する姿を象徴的に表現されています。

赤は太陽、青は空と海、黄は光で豊かな自然に恵まれ、教育環境に優れた島根県を爽やかに美しくイメージされています。





# 雲南市の「学校事務の共同実施」

雲南市では平成19年度に事務職員の加配事業を受け、平成20年度から市内全校で以下のような「学校事務の共同実施」が始まっています。共同実施組織を活用し事務改善を実践することで、事務職員の意識の変化や組織的な取り組み体制が出来上がっていると考えています。さらに、事務職員が学校管理や教育活動との連携・支援に積極的に関わることによって、児童生徒にとってよりよい学校となるような組織強化に寄与でき、学校教育の充実に繋がると考えます。

また、今年度新たに設けられた推進委員会では、雲南市としての今後のビジョン協議が行われています。

## \*\*\*\*\* 今年度の取り組みの概要 \*\*\*\*\*

### 手法

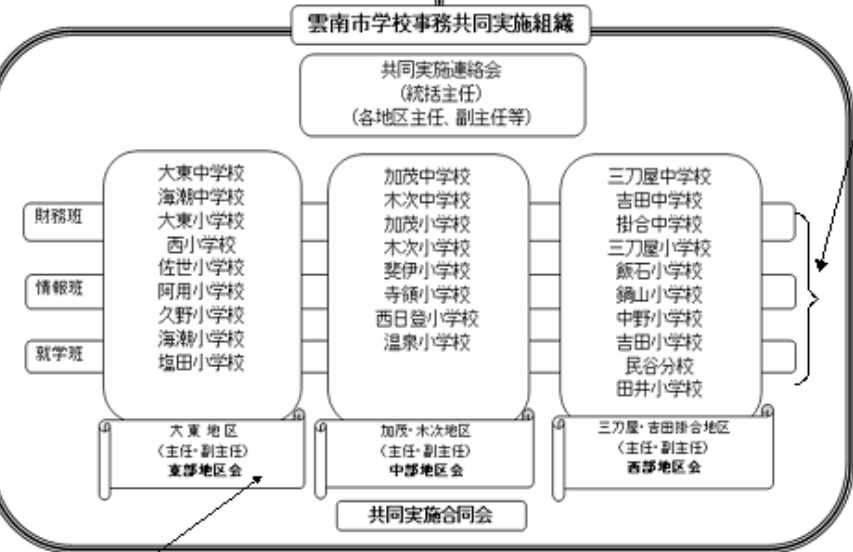
- 地区会が組織され、相互に兼務発令がされています。  
**大東（東部）地区 加茂木次（中部）地区**  
**三刀屋掛合吉田（西部）地区**  
 月1回の定例会をしています。
- 業務班を組織し、事務改善のための協議・提案をしています。  
**財務班 情報班 就学班**  
 必要に応じて開催しますが、おおむね月に1回程度です。

### 内容

- 学校教育に関わる各種事務について目標に沿うよう取り組みを行っています。
- 事務の効率を高めるための事務処理の見直しや学校事務の標準化。
  - 学校内で教育職員が担っている各種事務の連携・支援・協働。
  - 学校事務職員の初任者配置校、未配置校等への事務支援・協力。



**雲南市学校事務共同実施協議会**  
 ・教育長  
 ・代表校長・代表教頭  
 ・統括主任・各地区主任、副主任  
 ・教育委員会事務局職員



**業務班**

**財務班**

- 備品購入事務の協力や備品管理・運用のための規程づくり。
- 学校集金の実務パターンや実務要綱の検討。

**情報班**

- 学校間グループウェアの活用やライブラリーの充実・支援。
- 文書分類や文書廃棄事務等の再検討。

**就学班**

- 「学籍情報関係事務の手引き」の活用と見直し。
- 学籍情報の共有や各種要綱・規程の整備。

※業務班の業務（主なもの）

### ※地区会の業務（主なもの）

### 地区会

- 学校事務の改善に向けた情報交換や事務確認（各校の課題、提案、検証）
- 定期報告書類（給与・旅費等）の確認、諸手当の検認、諸手当認定事務
- 学校事務職員初任者若年者配置校等への学校事務支援・協力、事務職員の未配置校の支援・協力。



## 今、校長に求められること

本市におけるこの二年間の具体的なすばらしい取り組みについては別掲に譲るとして、着任してこの一年間に考えさせられたことについて述べたいと思います。今後校長先生方が共同実施に向かわれる上での一助になれば幸いです。

私自身、共同実施についてもっと勉強しようと、昨年11月に江津市で開催された県公立小中学校事務研究大会に参加しました。講演は、学校マネジメント講座でおなじみの名城大学教授木岡先生でしたが、共同実施について次のようにお話になりました。

「学校事務の共同実施は、単に各学校の事務処理システムを統合して効率化を図ることにとどまらず、協働的な学校間連携を強靱にしていくための仕組みとして、地域に偏在する様々な教育資源を各学校が活用できるネットワークの開発を担うとともに、ネットワーク・マネジメントの中核となるよう、自らを開発していくことが期待される。」

意味を理解するのはなかなか難しいところですが、取り組み方として要は事務職員だけでなく教育関係者全員

雲南市立木次中学校  
校長 矢野英明

で当たるべきことであるということだと思います。

学校事務の共同実施の目的のひとつに教員の多忙感の解消が挙げられますが、そのために教員が行っていた事務を事務職員が担当しようとするれば校務分掌の変更であることから、当然に事務職員主体ではなく校長が推進していかざるを得ないと思います。雲南市の土江教育長は、「学校事務の共同実施を通して各学校が校長先生のリーダーシップの下に、『学校組織の強化』『学校経営に全教職員の参画』を目指して取り組んでほしい。」と述べられていますが、まさにこのことだと思います。

共同実施には、さまざまな意見や考え方があることから、多様な取り組みや組織作りが行われています。それは、学校や地域の実態により求められていること、実践可能なこと等が異なることも影響していると思います。であるならば、雲南市としての共同実施に対する考え方を理解し、教職員の意見を聞きながら実践に移すことが、今まさに校長に求められていることではないでしょうか。



## 学校事務の共同実施に望むもの

雲南市教育委員会  
教育長 土江博昭

学校事務の共同実施につきましては、平成19年3月の中央教育審議会「今後の教職員給与の在り方について（答申）」の中で、校務と学校組織運営体制の見直しにおいて、事務職員の積極的な学校運営への関わりと共同実施の促進等が指摘されています。

こうした中で、雲南市は、複数校が共同で学校事務を行う体制を確立し、学校事務の適正かつ円滑な執行と、事務処理体制の確立、事務機能強化を図ることとし、その結果、事務職員が学校運営に積極的に参画し、専門性を発揮することによって、学校教育の充実と自主的で自律的な学校運営の推進が期待できると信じて学校事務の共同実施に踏み切ったところです。

特に、私はこの学校事務の共同実施に求める重要な視点を「児童生徒のための学校組織の強化」としています。

学校運営に「学校事務職員の皆様が如何に関わっているのか」、そのための「学校運営組織の見直し」を全ての教職員の皆様が考え、実行していただきたいと思っています。

私自身を振り返った時、「17年間学校現場にいたけれど、学校事務職員の皆様の存在をどう感じていたのか。どれ

だけ、一緒に教育を語ったのだろうか。」確かに、職員会への参加や部活動等でも一緒に汗を流し、「仲間」という意識はもっていたけれど、「組織の一員として学校教育の推進についてどんな議論をしてきたのか。」ただ、備品整備の要望や学校教育環境の整備、予算等に関してのみの、いわば「困った時の神頼み的な存在ではなかったのか。」という反省の念を強くもちました。

雲南市での共同実施は、一般的に言われている「事務の効率化」「教員の事務負担軽減」「教員の子どもとふれあう時間の確保」だけではなく、この学校事務の共同実施を通して各学校が校長先生のリーダーシップの下に、「学校組織の強化」「学校経営に全教職員の参画」を目指して取り組んでいただきたいと思います。

また、学校事務職員の皆様には「教育が語れる事務職員」、そして「語れる環境づくり」を学校の先生方に望むとともに、教育委員会の行政システムのひとつである学校事務の共同実施を、学校と教育委員会が「協働」をキーワードに前進していくことを切に願っています。





## 学校組織マネジメント指導者養成研修に参加して

大田一司 千葉ひろみ  
期日:9月28日～10月2日  
場所:教員研修センター

「学校組織マネジメント」という言葉も「聞いたことがある」程度の知識でしかなかったのに、受講を決めたことは、言うまでもないいつもの私の考えの浅はかさゆえのことでした。いろいろな研修を受けてみたいという意欲はあったものの、事前提出課題を考え始めた時から、期待も高まりましたが、私が受講してよいのかと不安になってきました。

いざ研修が始まると、横文字も多く、今まで聞いたこともないような言葉が飛び交っていました。が、資料も豊富で、書き留められなくてもよいように後でわかるようにしており、安心して研修を受けることができました。



＊学びの早い人、遅い人がいる。短時間での記憶力に差がある。

＊一人ひとりが学校経営への参画がある学校は強い

＊ロジカル（論理的）シンキング（考え）⇒相手がわかりやすく納得できる話か

一つの話が対の表現 対の考え方となっているか

＊自分の言いたいことを相手に伝えるために⇒伝えたい数を示す そして 自分の頭 相手の頭に同じ地図を描く

＊組織マネジメントは、求める目的に向かって効率的・効果的に動くために、資源を統合し、調整すること

⇒学校組織マネジメントは、学校内外の能力・資源を開発・活用し、学校に関与する人たちのニーズに適應させながら、学校教育目標を達成していく過程（活動）である。

学校が組織として有効に機能することが求められている昨今、貴重な研修を受けることができました。卓越した講師陣が一同に会した講座で、学校組織マネジメントの重要性を肌で感じた5日間でした。私としては、組織の取り組みが学校では薄いこともあり、「学校組織マネジメント」の必要性を伝えていこう（意識付け）と思っています。

## 島根県学校事務セミナー開催

1月28日、第6回島根県学校事務セミナーが開催されました。午前中は、全事研副会長による「学校財務マネジメント研修」、午後は、講演「学校の自主性自律性を確立する学校財務の在り方」（兵庫教育大学院 笠沙准教授）がありました。

平成21年度から島根県教育センターにおいて、小・中学校事務職員の研修を担うことになり、より充実した実務に反映する学校事務職研修を行うため、今日までに新規採用者の学校訪問や様々なチャンネルを通じた学校事務職員の現状、課題及び問題点の把握に努めてきたところです。その一言として、今回のセミナーに参加させていただきました。

私は、「島根の子供たちのため」の視点に立った、今後のあるべき学校経営のあり方、また、その中での学校事務職員の関わり等について、皆様の自主的・主体的かつ熱意ある研究セミナーに感銘を受けたところであり、今後の学校事務職研修の体系化、具体的研修計画・執行に活かしたいと意を強くしたところです。

石田 八才（島根県教育センター）

学校財務担当者として学校経営に参画していくことによって、学校目標達成にどう関わっていくか、自信溢れる話しぶりは、実践に裏打ちされたものであった。校内での職員研修例などあり、セミナーならではのものではあった。

松森 百合子（隠岐の島町立都万小学校）

最新の事務理論や動向にふれ、日常の学校事務を問い直すよい機会となっています。

演習を織りませでの学校財務マネジメント研修は、具体的によく分かりました。金井さんは、試験を受けての「事務主幹」昇任とか、そのバイタリティーが伝わってきました。

福岡 正道（大田市立第三中学校）

いくら経験年数を重ねていても、私のしていることはただの“事務処理”に過ぎないということを思い知らされました。最近、向上心や向学心を忘れかけていたので、今回のセミナーに参加して本当に良かったと思います。

藤松 美穂（雲南市立西小学校）

学校財務については事務職員だけで抱え込んでしまいがちですが、教員や保護者に情報公開して考えてもらうのは良いことだなあと思いました。

深田 弥生（松江市立大野小学校）

参  
加  
者  
の  
感  
想



事務歳時記

久屋小学校  
森山 訓

小春日や廊下走れば叱られる

この頃にはよい天気とぐずついた天気、交代でやってくる。天気がよくて暖かい日のことを小春日和といつて、冬も近いのに春のような気候の時もある。かといって外で遊ぶほど暖かくはないので、廊下で鬼ごっこをしては叱られている。

着ぶくれて登校の列長くなり

昔は綿入れとか丹前など、何枚も服の上に着たものだが、そのわりには暖かくなかったように思うのは、それほど冬が寒かったのだからか。最近ではダウンジャケット一枚で十分寒さはしのげるが、よけいにふくらんで見えるようになった。

春めいてときどきそろふ校歌かな

二月半ばより、校内では在校生の呼びかけや、卒業生を送る歌などの練習に熱が入ってくる。最上級生に対して感謝の思いと、これからの活躍に対して在校生からの最期のメッセージである。最期に歌う校歌もだんだんそろそろってきた。

転勤といふ別れあり出会いあり

こういう仕事をしていけば転勤はつきもので、いずればそこを離れなければならないことは分かっているはずだが、地域性によるつながりや、在校年数の長さによっては、計り知れない感情を併せ持っている時もある。



Vol.15 おかみ Nice to meet you!!



原作：広戸賢治 画：千葉ひろみ 大橋幸子

環境コーナー みんなに優しい色環境を!



最近、チョークを購入しようとカタログを見ると、「みんなに見やすい!色覚をサポートするカラーユニバーサルデザイン」とか「色覚障害対応」というキャッチコピーが目に入ります。

人間の色の見方、感じ方(色覚)は、個人差があります。若齢や目の疾患によっても変化します。日本人男性の約5%、女性の0.2%の方が、日本全体では300万人以上の方が一般の人と異なり、識別が困難と言われています。

このように多様な色覚を持つさまざまな人に配慮して、なるべく全ての情報が正確に伝わるように利用者側の視点によって作られたデザインを、「カラーユニバーサルデザイン」といいます。

学校においても、色の見え方が他人と異なる子どもたちがいます。その子どもたちが学校生活で不便を感じないように配慮が必要です。以前学校に配布されたパンフレット「みんなが見やすい色環境」を参考にしてください。また、詳しくは、日本学校保健会のホームページに掲載されています。 「学校保健」 <http://www.gakkohoken.jp>

カラーユニバーサルデザイン 3(+1)原則

- 1 実際の照明条件や使用状況を想定して、どのような色覚の人にもなるべく見分けやすい配色を選ぶ。
  - 2 色だけでなく「形の違い」「位置の違い」「線種や塗り分けパターンの違い」などを併用し利用者が色を見分けられない場合にも確実に情報が伝わるようにする。
  - 3 利用者が色名を使ってコミュニケーションすることが予想される場合、色名を明記する。
- +1 その上で、目に優しく見て美しいデザインを追求する。

【編集後記】

日本チームの健闘の光ったバンクーバーオリンピックが終わりました。自分の持てる力を十分に発揮しメダルを胸にする選手、期待通りの活躍ができず涙する選手、様々なドラマが展開された競技を十分に楽しませてもらいました。

気がつくとも1年で一番忙ただし3月。多くの現場で行われる年度末の評価。学校事務職員として共同実施組織として期待通りの活躍をしたいものです。 (上村愛子ファン)

